

基本項目記入数 25

チャレンジ項目記入数 6

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・工事現場から排出される産業廃棄物は種類ごとに分別し、収集運搬、中間処理、最終処分に関してはマニフェスト伝票で確実に管理している。リサイクルが出来る物に関しては専門業者に持ち込み適切に処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートを使用し毎月のガソリン・軽油の使用量を記録し、従業員に記録表を周知しエネルギーの削減に取り組んでいる。 ・省エネ性能の車両・重機への入れ替えを促進しエネルギー使用量の削減に取り組んでいる。							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートを使用しCO2排出量の把握し、従業員に記録表を周知させ取り削減に取り組んでいる。 ・省エネ性能の車両・重機への入れ替えを促進し、CO2排出の削減に取り組んでいる。		2.4							7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・港湾工事において漁業協同組合と協議し防護ネットを使用することにより、汚水が港湾に流入するのを防ぐ取り組みを行っている。						6.6										14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・事務所においてコピー用紙の両面使用、再生インクカートリッジの使用、さらに使用済インクカートリッジの引取店への店頭持ち込みを実施している。 ・ペーパーレス化に取り組み経理上紙媒体でのやり取りをメールに移行している。										9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・現場事務所の仮設トイレは節水タイプを使用している。 ・工事現場ではろ過設備を設け水質を管理している。 ・事務所のトイレ使用の際は、小で流すことを掲示している。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5				14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・プリンターのインクのリサイクル品の購入、使用済インクカートリッジのリサイクルを行っている。											9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4								12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・現場事務所の植栽及び屋内でのリフレッシュグリーンの取り組みを行っている。															11.6 11.7		13.1 13.3	15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		・照明のLDE化、空調の省エネ高効率機器の導入を行っている。 ・日除けスクリーンを利用し冷房効率の促進を行っている。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5			13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																	12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●													9.4			11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●											7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2		

